

⑫ 公開実用新案公報(U) 平1-80842

⑬ Int. Cl.⁴

F 16 F 9/16
B 62 K 25/08
F 16 F 9/40

識別記号

庁内整理番号

8312-3J
B-7535-3D
Z-8312-3J

⑭ 公開 平成1年(1989)5月30日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑮ 考案の名称 油圧緩衝器

⑯ 実 願 昭62-177108

⑰ 出 願 昭62(1987)11月20日

⑱ 考 案 者 清 宮 正 雄 岐阜県可児市土田505番地 カヤバ工業株式会社岐阜南工場内

⑲ 出 願 人 カヤバ工業株式会社 東京都港区浜松町2丁目4番1号 世界貿易センタービル

⑳ 代 理 人 弁理士 天 野 泉

㉑ 実用新案登録請求の範囲

(1) 減衰力発生機構を有すピストン部を中間位置に配置したピストンロッドの両端を、シリンダ内に軸受けシールによる密封下に摺動自在に挿通すると共に、該ロッドの一端とシリンダの一端とのいずれか一方をアウターチューブに、他方をインナーチューブに夫々連結してなる油圧緩衝器。

(2) 前記ロッドにおけるピストン両側の少なくとももいづれか一方を中空筒に構成すると共に、該中空筒壁に前記シリンダ内に臨む通路を開穿してなり、かつ、中空筒端にフリーピストンを附設してなるところの実用新案登録請求の範囲第1項記載の油圧緩衝器。

(3) 前記シリンダの両端とインナーチューブの両端との間にメインスプリングとサブスプリングとを夫々配在せしめてなるところの実用新案登録請求の範囲第1項記載の油圧緩衝器。

図面の簡単な説明

図面は本考案油圧緩衝器の一実施例を示すフロントフォークの縦断面図である。

〔符号の説明〕、1…ピストン、2 a, 2 b…減衰力発生部、4 a, 4 b…ピストンロッド、5…シリンダ、8…通孔、11…フリーピストン、12…アウターチューブ、13…インナーチューブ、16…シリンダホルダー、18…メインスプリング、20…サブスプリング。

